

## ガーデンシティ舞多聞 てらいけプロジェクト 第7回公開講座を開催しました

2012年9月29日(土)午後1時30分より、神戸芸術工科大学(以下、芸工大)クリエイティブセンターにててらいけプロジェクト第7回公開講座を開催し、34組63名の方にご参加いただきました。

### 【プログラム】

13:00受付開始、13:30～16:00

#### ■講演

「てらいけの魅力を高めるまちづくりのルールについて」  
神戸芸術工科大学 佐々木宏幸 特別准教授

#### ■ワークショップ

個々の敷地内だけでなく、まち全体を考えることで、まちの価値を高めることとなります。みついけの経験に学びながら、自分たちが住みたいてらいけの街並みとルールについて話し合います。



第7回公開講座終了後に参加者の皆さんと記念撮影

### ■「てらいけの魅力を高めるまちづくりのルールについて」 神戸芸工大学 佐々木特別准教授

今回、てらいけプロジェクトの公開講座に初めて参加された方がたくさんいらっしゃったこともあり、最初に、当プロジェクトの計画策定に携われた佐々木特別准教授から、これまでの公開講座を振り返りながら、当プロジェクトが「そこに住むことを誇りに思うまち」を目指してきたことを説明されました。

また、その実現化に向けて、①電線類の地中化により、建柱や電線類のない街並みを実現すること。②まち並みを豊かにするため、ルールを決めること。③多世代が共存する街にするために、いろいろなタイプの宅地を提供すること。の3点が決定していると報告がありました。

そして、②については、芸工大とURがルールを検討するに際し、てらいけに興味を持たれ、公開講座に参加されている皆さんが、てらいけにはどのような街並みが相応しいと考えられているのかを、芸工大とURが知っておく必要があること、そのためのワークショップを今回行うことの説明がありました。

初めてご参加いただいた方にも当プロジェクトについて理解いただく機会となりました。



ワークショップの目的と手順を説明される佐々木特別准教授

### 【参加者の皆さんの感想】 佐々木先生の講演についてアンケートのコメントから抜粋

- ・初めて参加しましたが、このプロジェクトの目的がはっきりわかり、ますます興味を持てるようになりました。
- ・どんなまちにしたいか、住みたいかのイメージがあって、ルールが導き出されるという話に共感しました。
- ・コミュニティの大切さを考えることの意味がわかりました。
- ・話がわかりやすく、イメージがつかみやすかった。
- ・街の統一ルールはあったほうが、街の方向性が出来て良いと感じた。
- ・「あいまいな規則は不必要」はいい。ないか、厳密なものがいい。守れないのはもつと悪い。
- ・いろんな考えの人がいるので、ルール作りはいろいろと難しそうだと思います。

## ■ワークショップ

佐々木特別准教授の説明のもと、ワークショップが始まりました。てらいけの街並みとして何を実現したくて、何を避けたいのかを明確にするため、用意されたイメージを、参加者の皆さんに評価していただく作業で、3つのパートで進んでいきます。

まず、パート1は参加者個々によるイメージの評価です。3つのカテゴリー（**A**道路からの景観、**B**家と家の関係、**C**庭のしつらえ）から成るイメージについて、「実現したい」または「実現したくない」を選び、その中からベストイメージを選んでいただきました。

パート2はラウンドテーブルディスカッションです。参加者の皆さんは6つのテーブルに分かれ、ファシリテータを交えて、カテゴリーごとに皆さんが各自選んだベストイメージについて議論をしながら、グループのベストイメージを選びました。

そして、パート3はグループ毎にパート2の結果発表を行い、他のグループではどのような議論がなされ、どのような理由からベストイメージが選ばれたのかを、参加者全員で共有しました。

2時間に及ぶワークショップでしたが、参加者の皆さんはとても熱心に議論され、てらいけの街並みに対する期待が高いことが感じられました。

### ○グループ発表に対する佐々木先生の講評

6グループによる「てらいけで実現したい街並み」に関する発表の後、今後の予定として、佐々木特別准教授から、今回のワークショップの結果の集計・分析を踏まえ、まちづくりの専門家であるURと神戸芸術工科大学が、てらいけの街並みに関するルールを次回の公開講座で提案するとの説明がありました。

また、皆さんの意見＝ルールとすると、ライフスタイルや多様な価値観を制限してしまう可能性があることから、皆さんの意見を踏まえつつも、ルールは専門家が作る必要であること、曖昧なルールであれば定められない方が良く、また、てらいけ全体の約160画地に定めるルールとは別に、今後の取組みとして、価値観を共有したグループ単位で、独自のルールを定めることを考えても良いのでは等の提案をいただきました。

そして、里山や森、クルドサックなど、いろんな宅地タイプがあることから、てらいけというアイデンティティある街並みを形成していくために、てらいけ全体でどのような価値感を共有するのかといった議論につながりたいと話されました。



(上)パート1：個々のイメージ評価

(中)パート2：テーブルラウンドディスカッション

(下)パート3：グループ発表

### ○今後の予定

次回、第8回公開講座は11月10日（土）に予定しています。本日のワークショップの結果を踏まえた「てらいけの魅力高めるまちづくりルールと個性的な宅地の紹介」といったテーマで開催する予定です。ぜひご参加ください！！

#### 【参加者の皆さんの感想】

ワークショップについてアンケートのコメントから抜粋

- ・てらいけのイメージが統一されていたことがよかった。それぞれの方の考えがわかって、ご近所の感じをつかみやすかった。
- ・みんなでつくり上げている感じがして良かった。
- ・他の方々の意見を聞いて再認識でき、いい勉強になりました。
- ・だいたい皆が好むイメージは似ていると感じました
- ・写真評価が難しい、または結果が明白な写真が多いと思う。
- ・同じ写真を見ても、見る人によって視点が異なるので論点を（主題を）しぼって話し合った方がわかりやすいと思います。その写真をみせる意図を先に説明した方がよい。